

令和6年5月29日
記者発表

知事のロサンゼルス訪問

- 岸本知事は、5月20日（月）から5月24日（金）の日程で米国カリフォルニア州ロサンゼルスを訪れました。
- ロサンゼルスでは、和歌山県立近代美術館と全米日系人博物館の姉妹ミュージアム提携締結式に立会人として出席しました。※詳細は同日付け和歌山県立近代美術館プレスリリース資料参照
- 2023年の第2回和歌山県人会世界大会に約100人が参加した南加和歌山県人会やターミナルアイランダーズ、太地人系クラブを訪問し、2028年に開催される第3回和歌山県人会世界大会への参加をお願いしました。
- 和歌山フェア（現地スーパーでの県産食品販売フェア）の視察を行うとともに、和歌山県産品の更なる販路開拓について、意見交換を行いました。

記

- 1 訪問期間 令和6年5月20日（月）から令和6年5月24日（金）まで
- 2 訪問者 岸本周平知事、谷洋一和歌山県議会南北アメリカ諸国友好議員連盟会長ほか議員4名、公益財団法人和歌山県国際交流協会等 計14名
- 3 知事日程

5月20日（月）	午後（日本時間）	関空発
5月20日（月）	午後（現地時間）	ロサンゼルス着 ジャパンハウス訪問 在ロサンゼルス日本国総領事表敬訪問
5月21日（火）	午前 午後	初代南加和歌山県人会長 湯浅銀之助頌徳碑献花 ロサンゼルスマリタイムミュージアム訪問 ターミナルアイランド訪問 ロサンゼルスマリタイムミュージアム館長との意見交換会 日米文化会館訪問 羅府新報訪問 南加和歌山県人会主催夕食会
5月22日（水）	午前 午後	和歌山フェア in カリフォルニア視察 和歌山県立近代美術館・全米日系人博物館 姉妹ミュージアム提携締結式出席 和歌山県主催夕食会
5月23日（木）	午後	ロサンゼルス発
5月24日（金）	午後（日本時間）	関空着

<お問い合わせ>

内容	ロサンゼルス訪問に関すること	姉妹ミュージアム提携に関すること	和歌山フェアに関すること
担当課	企画部国際課	和歌山県立近代美術館	農林水産部食品流通課
担当者	田井、西田	青木、奥村（一）	伊佐、井汲
電話	073-441-2055	073-436-8690	073-441-2815

ジャパンハウス訪問

日時：5月20日（月）14：00～14：30

場所：ジャパンハウスロサンゼルス
（カリフォルニア州ロサンゼルス市）

岸本知事は、谷洋一南北アメリカ諸国友好議員連盟会長等とともに外務省の海外情報発信拠点であるジャパンハウスを訪問した。ジャパンハウスでは、企画展や日本酒プロモーションイベントの視察のほか、和歌山県のアメリカでのプロモーションについて海部優子館長と意見交換を行った。



在ロサンゼルス日本国総領事表敬訪問

日時：5月20日（月）16：30～17：00

場所：在ロサンゼルス日本国総領事館
（カリフォルニア州ロサンゼルス市）

岸本知事は、谷洋一南北アメリカ諸国友好議員連盟会長等とともに、曾根健孝在ロサンゼルス日本国総領事を表敬訪問し、1911年創設の南加和歌山県人会の活動と2023年の第2回和歌山県人会世界大会の概要を説明したほか、ロサンゼルスでの和歌山県の観光・物産振興への協力依頼を行った。



初代南加和歌山県人会長 湯浅銀之助頌徳碑献花

日時：5月21日（火）9：15～9：40

場所：エバーグリーン墓地
（カリフォルニア州ロサンゼルス市）

岸本知事は、谷洋一南北アメリカ諸国友好議員連盟会長や南加和歌山県人会役員等とともに、南加和歌山県人会創立者である湯浅銀之助頌徳碑への献花を行い、先人のご労苦に心を馳せた。

湯浅銀之助（1869～1926）：

紀の川市（旧粉河町）出身。1897年に雑誌「新日本」、1902年に「羅府日米」を創刊。南加在留日本人のリーダー・先覚者としての功績が讃えられ、頌徳碑が建てられている。



ロサンゼルスマリタイムミュージアム訪問

日時：5月21日（火）10：30～11：00

場所：ロサンゼルスマリタイムミュージアム
（カリフォルニア州サンペドロ市）

岸本知事は、谷洋一南北アメリカ諸国友好議員連盟会長等とともに、和歌山県人を中心とする日本人漁師のコミュニティがあったターミナルアイランドの常設展示があるロサンゼルスマリタイムミュージアムを訪問し、太地人系クラブ会員から、本県からの移住者の当時の暮らしについて、説明を受けた。



ターミナルアイランド訪問

日時：5月21日（火）11：15～11：45

場所：ターミナルアイランド
（カリフォルニア州サンペドロ市）

岸本知事は、谷洋一南北アメリカ諸国友好議員連盟会長等とともに、和歌山県人を中心とする日本人漁師のコミュニティがあったターミナルアイランドを訪問し、移住された先人のご子孫であるターミナルアイランダーズから、ターミナルアイランドでの先人の暮らしについて説明を受け、第二次世界大戦により財産が没収され収容所に入ることになった先人の艱難辛苦の日々に思いを馳せた。



日米文化会館訪問

日時：5月21日（火）14：30～15：30

場所：日米文化会館
（カリフォルニア州ロサンゼルス市）

岸本知事は、谷洋一南北アメリカ諸国友好議員連盟会長等とともに、日米文化会館を訪問した。

日米文化会館では、パトリシア・ワイアット館長、高野山真言宗米国別院の松元優樹主監と、2025年1月に日米文化会館で開催される精進料理プロモーションへの協力や今後の日米文化会館での県産品PRについて意見交換を行った。



羅府新報訪問

日時：5月21日（火）16:00～16:30

場所：羅府新報

（カリフォルニア州ロサンゼルス市）

岸本知事は、羅府新報を訪問し、2023年の第2回和歌山県人会世界大会の取組みや和歌山県の魅力などについて、インタビューを受けた。

羅府新報：

1903年4月創刊。海外で発行されている日本語新聞としては最も古く、主に渡米した日本人移民の動向、日本に関わる政治・経済動向、移民2世・3世の築き上げてきた日系コミュニティの様子を日本語と英語で発信。



南加和歌山県人会主催夕食会

日時：5月21日（火）18:30～20:30

場所：Luminarias Restaurant

（カリフォルニア州モントレーパーク市）

岸本知事は、谷洋一南北アメリカ諸国友好議員連盟会長等とともに、南加和歌山県人会主催夕食会に出席した。

南加和歌山県人会主催夕食会では、フィッシャー敦子代表はじめ36人の県人会員の歓迎を受け、参加者との交流を深めた。



和歌山フェア in カリフォルニア視察

日時：5月22日（水）10:30～11:30

場所：マルカイコーポレーション

（カリフォルニア州ガーデナー市）

岸本知事は、谷洋一南北アメリカ諸国友好議員連盟会長等とともに（株）PPIHの子会社である、マルカイコーポレーション本社を訪問し、豊浩一社長はじめ、マルカイコーポレーションの担当者に「和歌山フェア」開催のお礼を申し上げた。

また、海外での日本の製品の市場トレンドについて説明を受け、更なる和歌山県産品の輸出に向け協力することに合意した。

マルカイコーポレーション：

1965年3月設立。スーパーマーケットの営業、食品及び生活関連商品の開発・輸入・販売等。

ロサンゼルス・サンディエゴ周辺に11店舗を展開。

2013年9月（株）パン・パシフィック・インターナショナルホールディングス（PPIH）への株式譲渡により子会社化。



和歌山県立近代美術館・全米日系人博物館姉妹ミュージアム提携締結式出席

日時：5月22日（水）15：00～16：00

場所：全米日系人博物館

（カリフォルニア州ロサンゼルス市）

岸本知事は、和歌山県立近代美術館（山野英嗣館長）、全米日系人博物館（アン・バロウズ館長兼 CEO）の姉妹ミュージアム提携締結式に立会人として出席し、同じ移民の歴史を共有する両館が、多様性、公平、包摂のコンセプトの下、一層の具体的な連携を深めることを確信した。

※詳細は同日付け和歌山県立近代美術館
プレスリリース資料参照



和歌山県主催夕食会

日時：5月22日（水）18：30～20：30

場所：ダブルツリーバイヒルトンロサンゼルスダウンタウン

（カリフォルニア州ロサンゼルス市）

岸本知事は、ロサンゼルス訪問にあたりお世話になった南加和歌山県人会役員や全米日系人博物館スタッフ等を招き、和歌山県主催夕食会を開催した。

和歌山県主催夕食会では、南加和歌山県人会のフィッシャー敦子代表はじめ、坂地純子氏、竹下ジェイミー氏に功労者表彰状を贈呈した。

また、南加和歌山県人会員との固いきずなを確認するとともに、2028年に開催される第3回和歌山県人会世界大会への参加を依頼した。



和歌山県立近代美術館と全米日系人博物館は 姉妹ミュージアム提携を締結しました



①署名した協定書を手にする両館館長



②協定書に署名する両館館長



③署名後に握手を交わす両館館長



④署名した協定書を手にする両館館長

開館当初から和歌山県ゆかりの渡米画家を収集の軸に据え、研究を重ねてきた和歌山県立近代美術館 (MOMAW) と、日系アメリカ人の歴史を全米規模で収集・公開する博物館である全米日系人博物館 (JANM) は、2024年5月22日、調査研究、展覧会、教育普及事業における現在の協力関係を認め合い、パートナーシップと関係性をさらに深めるため、姉妹ミュージアム提携を締結しました。

姉妹ミュージアム提携締結式

2024年5月22日(現地時間)、全米日系人博物館(ロサンゼルス)において、和歌山県立近代美術館と全米日系人博物館の姉妹ミュージアム提携(Sister Museum Affiliation) 締結式を実施しました。

協定書には、和歌山県立近代美術館 山野英嗣館長と、全米日系人博物館 アン・バロウズ館長兼 CEO が署名し、和歌山県からは岸本周平知事が、ロサンゼルスからは全米日系人博物館理事長ウィリアム・T・フジオカ氏が立会人として出席しました。

また来賓として、在ロサンゼルス日本国総領事 曾根健孝氏にご臨席いただいたほか、カリフォルニア州議会からは提携が行われたことについての証明書が発行されました。

会場には和歌山県議会より5名の代表団、和歌山県国際交流協会の職員が同席し、さらには南加和歌山県人会、太地人系クラブなど、両館の活動を支えてきた関係者が集まり、長期的な連携関係の第一歩を祝いました。

⑤立会人である岸本周平和歌山県知事および
ウィリアム・T・フジオカ JANM 理事長とともに記念撮影



お問い合わせ先

和歌山県立近代美術館
学芸担当：青木加苗 広報担当：村井

〒640-8137 和歌山県和歌山市吹上1-4-14
TEL : 073-436-8690 FAX : 073-436-1337
E-MAIL : press@momaw.jp WEB : <https://www.momaw.jp>

全米日系人博物館 (JANM : ジャノム) とは

ロサンゼルスのリトル東京コミュニティに位置するスミソニアン協会公式加盟機関で、国内外でその活動を展開しています。同館は、日系アメリカ人の歴史と文化を伝える最大規模の収蔵施設であり、そこには和歌山県をはじめ、日本各地からの資料が含まれています。また日本人であることを理由に、戦時中、基本的人権を奪われた日系人の歴史を共有することで、公民権の意義を伝えるための施設でもあります。



⑥全米日系人博物館外観 (全米日系人博物館提供)

和歌山県立近代美術館の移民史研究

日本で5番目に開館した近代美術館でもある和歌山県立近代美術館は、活動の当初より、戦前のアメリカで活動した和歌山ゆかりの芸術家を継続的に研究してきました。近年では、和歌山の移民史に意識的に目を向け、美術の歴史をより大きなスケールで文脈化することを試んでいます。例えば、和歌山県出身者の多くがアメリカに移住し、戦前の漁業や農業に大きな影響を与えたことが知られていますが、これらのコミュニティは芸術家のコミュニティとも不可分であり、一般的な歴史と美術史の双方において、さらなる考察を必要とするからです。特に太地町歴史資料室や和歌山大学紀州経済史文化史研究所、和歌山市立博物館ら関連する諸機関と協働し、美術から見た和歌山県の移民史研究に取り組んでいます。



⑦和歌山県立近代美術館外観

JANM と和歌山県立近代美術館とのこれまでのつながり

和歌山県内の連携を礎に、和歌山県立近代美術館は2022年より、JANMでのさまざまな調査、JANMから研究者を招いての国際シンポジウム、和歌山県内の学校とJANMとを繋いだオンライン授業などを実施してきました。このパートナーシップの最大の成果は、2023年の展覧会「トランスボーダー 和歌山とアメリカをめぐる移民と美術」(9月30日～11月30日)として結実します。この展覧会は、同年10月に和歌山県が主催した第2回和歌山県人会世界大会を記念する特別事業として開催したもので、美術館が美術作品だけでなく、多様な移民史資料をあわせて紹介した画期的な展覧会でもあり、県内外で大きな注目を集めました。



⑧2023年の「トランスボーダー 和歌山とアメリカをめぐる移民と美術」展 会場風景

目標と今後の連携活動

両館にとって、他館と姉妹提携を結ぶのは、初めてのこととなります。互いに遠く離れた場所に位置していますが、ひとつのコミュニティを共有し、繋がっているという認識を確認しています。また各館のミッション(活動の使命)に基づいた連携関係として、この協働の意義を相互に理解し、継続的な協力関係を結びつつ対話を継続することで、現代の国際社会に欠かすことのできないトランスナショナル(国家の枠組みを超えた)な視点に立った博物館活動を展開するための土台を築くことを目指します。

具体的な活動としては、職員の交流、オンラインも活用したシンポジウムや教育プログラムの実施、そして両館のさまざまなリソースや知識、技能を活用した美術と移民の歴史に関するさらなる研究を、展覧会の開催も視野に入れつつ継続します。こうした一つひとつの活動を姉妹提携の関係を強めるものとして積み重ねていきます。



⑨締結式に先立ち、全米日系人博物館の展示を見学する和歌山県訪問団

掲載用画像については広報担当にお問い合わせください。

⑥は全米日系人博物館提供、⑥以外はすべて和歌山県立近代美術館提供です。